

第45回全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会の部 参加申込書

※ 楷書でていねいに記入してください。

ふりがな		男・女		障害区分番号
氏名			歳	
住所	〒 _____			
※ 確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。 TEL() -				
E-mail : FAX() -				
年齢区分	A. 30才未満 B. 30才以上40才未満 C. 40才以上55才未満 D. 55才以上65才未満 E. 65才以上 (該当区分に○印をして下さい)			
所属または行政区				
出場種目	アスリートビブス ※記入しない			

リレー種目	聴覚(男・女)、療育(男・女、混成)	チーム名	
第1走者		第3走者	
第2走者		第4走者	
補欠		補欠	

該当箇所○印をしてください

障害者手帳	障害名 (手帳に記載されている障害名を記入してください)
身体・療育・精神	

介助者	①有 ②無	手話・要約 必要な方へ	手話通訳、要約筆記が必要な方は、 どちらが必要かチェックしてくだ さい <input type="checkbox"/> 手話通訳 <input type="checkbox"/> 要約筆記
全国車いす駅伝競走大会 の出場	①希望する ②希望しない	点訳プログラムを希望される方は ○印をしてください。	

第25回全国障害者スポーツ大会「青森大会」出場希望者記入欄 (次年度の全国障害者スポーツ大会に出場を希望される方のみ記入願います。)				
生年月日	昭和・平成 年 月 日			
所属先	名称	担当者名 ()		
	住所	TEL ()		
重複障害	身体	療育	精神	なし
競技中に使用する 補装具等(有・無)	(障害名:) ・杖 ・松葉杖 ・クラッチ ・義肢装具 ・電動車いす ・手動車いす ・レーサー ・椅子 ・投てき台 ・その他 ()			

※競技を問わず、過去に全国障害者スポーツ大会に出場されたことのある方は、選考の対象となりません。

※上記の個人情報は、当該目的以外には使用いたしません。

全京都障害者総合スポーツ大会 陸上競技大会 種目一覧表 (男女共通)

◎男女別・年齢区分別 ▲男女別・年齢区分なし

		全国障害者スポーツ大会兼全京都陸上大会種目																
		全国大会選考 対象外種目	全国大会選考対象種目															
		競 走							跳 躍			投てき						
		30m 急歩	300m	500m	1000m	2000m	4000m	8000m	15000m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ピンバグ投	
障害区分番号	障 害 区 分																	
		1	上 肢	1	○	○	○							○	○	○	○	○
2				○	○	○					○	○						
3			○	○	○					▲	○	○						
下 肢	4				○	○						○	○	○	○	○	○	
	5		○		○	○						○	○	○	○	○	○	
	6				○	○						○		○	○	○	○	
	7		○		○							○		○	○	○	○	
8	○													○	○	○		
9			○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	
2	車椅子常用、使用 脳原性麻痺以外で	10			○	○				○							○	
		11								○							○	
		12					○	○		○				○	○	○		
		13					○	○		○				○	○	○		
		14		○										○	○	○		
		15					○	○		○				○	○	○		
3	(脳原性麻痺、脳血管 疾患、脳外傷等)	16			○					○							○	
		17								○							○	
		18					○				○				○	○		
		19					○	○	○		○				○	○	○	
		20	○												○	○	○	
		21					○	○	○		○			○	○	○	○	
		22					○	○	○		○			○	○	○	○	
4	23								○							○		
視覚障害	24		○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○		
	25		○	○	○	○		○	○		▲	○	○	○	○	○		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	26		○	○	○	○		○	○		▲	○	○	○	○	○		
療育	27				○	○	○	○	○		▲	○	○	○	○	○		
内部障害	28		○	○				○				○	○	○	○	○		
精神保健	29				○	○		○	○		▲	○	○	○	○	○		

※次年度の全国障害者スポーツ大会出場希望者は、全国大会選考対象種目の中から選んで申し込んでください。
 ※50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
 ※体幹とは、頸部、胸部、腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊柱カリエス等による体幹の障害が該当する)。
 ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。
 ※視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。
 矯正後の良い方の視力が0.02以上の場合は、視野障害の有無に関わらず、その他の視覚障害に区分される。
 ※障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。
 ※リレー競技の対象は、聴覚障害、療育に限る。(リレーのみの参加は認めない)

キ
リ
ト
リ
線

【障害区分の説明】

- 1 完全とは、上肢や下肢の大きな3つの関節の機能が損傷を受け、補装具なしでは体重を支えきれないもの。
- 2 体幹障害とは、脳原性麻痺を除く脊柱障害のもの（脊柱側弯など）。
- 3 関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。
- 4 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合には、7級に認定された障害の区分で競技に参加してもよいが、多肢切断や両上肢障害などのように、複数の部位の切断や機能障害の場合には、3肢以上（多肢）や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。
- 5 座位バランスの判定は、「へそ」の位置での知覚レベルの有無が一つの判断基準になる。背もたれのない椅子に座り両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランス有り」と判断する。
- 6 肢体不自由者2で、頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。
- 7 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害である。
- 8 視力は、両眼の和でなく、矯正後の良い方の目の視力である。
- 9 競技上の注意
 - ① 身体障害が重複している場合でも、同一の大会では、同じ障害区分で参加すること。
 - ② 上腕切断が前腕切断で参加するように、より軽度の区分での参加は認めない。
 - ③ 両下肢完全の者が、補装具を付けて立位でソフトボールを投げ、競技のときだけ車椅子で卓球をするなどは認められる（申込書に明記すること）。

〈スラロームの旗門の位置〉

